

# 松阪の景気動向

令和4年1月調査結果

当所では、松阪地域の景気動向を的確に把握し、今後の商工会議所事業活動の参考とすることを目的に、毎年2回（1月と7月）景況調査を実施している。今回、1月実施の調査結果がまとまった。

## 調査対象

当所会員事業所から任意抽出した923企業を対象に調査を実施し、回答は414企業、回答率44・8%であった。

## 業種別回答状況

・製造業	22・2%
・建設業	18・4%
・卸売業	7・5%
・小売業	19・8%
・飲食業	4・8%

## 従業員数別回答状況

・サービス業	20・5%
・交通運輸業	6・8%

## ① 現況と今後の見通し

### (A) 現況

全体では「良い」「やや良い」

## 現況について

業種	調査時期	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	DI値
製造	R4年1月	4.3	22.8	28.3	26.1	18.5	△17.5
	R3年7月	6.1	13.9	22.6	29.6	27.8	△37.4
建設	R4年1月	2.6	7.9	43.4	31.6	14.5	△35.6
	R3年7月	2.4	12.0	47.0	24.1	14.5	△24.2
卸売	R4年1月	9.7	16.1	29.0	25.8	19.4	△19.4
	R3年7月	3.6	10.7	25.0	42.9	17.9	△46.5
小売	R4年1月	0.0	8.5	25.6	41.5	24.4	△57.4
	R3年7月	3.0	15.0	24.0	30.0	28.0	△40.0
飲食	R4年1月	0.0	10.0	25.0	35.0	30.0	△55.0
	R3年7月	0.0	4.8	14.3	9.5	71.4	△76.1
サービス	R4年1月	1.2	9.4	41.2	38.8	9.4	△37.6
	R3年7月	1.3	10.1	39.2	27.8	21.5	△37.9
交通運輸	R4年1月	7.1	7.1	35.7	28.6	21.4	△35.8
	R3年7月	5.9	8.8	35.3	29.4	20.6	△35.3
総合計	R4年1月	2.9	12.3	33.6	33.3	17.9	△36.0
	R3年7月	3.5	12.2	30.9	28.3	25.2	△37.8

## ※DI値（現況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

が15・2%（前回15・7%）、「やや悪い」「悪い」が51・2%（前回53・5%）となり、DI値は△36・0で、前回（△37・8）より1・8ポイント改善した。業種別のDI値は、製造業、卸売業、飲食業は改善した。また、サービス業、交通運輸業はほぼ横ばい、建設業、小売業は悪化

## (B) 今後の見通し

全体では「良い」「やや良い」が11・1%（前回10・0%）、「やや悪い」「悪い」が41・6%（前回39・8%）となり、DI値は△30・5で、前回（△29・8）とほぼ横ばいとなった。業種別のDI値は、飲食業、サービスの